

議会事務局 処理欄	受付	令和7年11月18日	質問（受付）順位	1番
		8時30分		

令和 7 年 11 月 18 日

阿久比町議会

議長 竹内 卓美 殿

阿久比町議会議員

都築 清子

議席番号 7番

一般質問の通告について

令和7年第4回定例町議会において次のように質問したいから通告します。

番号	質問事項	質問の要旨（具体的にご記入願います）	備考
1	子育てに寄り添う環境づくり	<p>共働きが当たり前になった今、産後に職場復帰する女性も増えています。そして男性も育児の主役として向き合う時代です。</p> <p>現状の町公共施設では育児をサポートする環境が母親を前提に設計されており、父親が育児に関わる際に不便を感じる場面があるようです。「子育てしやすいまち」と実感していたくためには、性別にかかわらず育児に関われる環境整備が不可欠です。男女の区別なく公共施設が利用できるよう育児支援の環境整備の見直し等、今後どのように対応していくのか以下の点について見解を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 既存の公共施設のトイレで女性トイレ個室と構造的な広さに大きな差異がない場合、ベビーチェアが未設置の男性トイレ個室にも設置が可能だと思われます。この点をどのように考えますか。 ② 男性トイレにも、安心しておむつ交換ができる台の設置が必要だと思いますが、どのように考えますか。 ③ 産後に職場復帰した女性など、母乳による胸の張りを我慢することなく授乳や搾乳ができる環境整備が必要です。町の公共施設に安心して授乳と搾乳ができる環境を整え、子育てに寄り添った支援をすることで、町の姿勢を示すことにもなると考えますが、見解を伺います。 	

番号	質問事項	質問の要旨（具体的にご記入願います）	備考
2	「予防医療」の支援体制と推進	<p>予防医療とは、生活習慣の改善などを通じて病気の発症を予防するほか、健康診査・がん検診により病気の早期発見・治療を促し重症化を防ぐものです。高齢化が進む日本社会において健康寿命の延伸や「生活の質」向上につながることが期待され、積極的に推進する意義は大きいと考えます。</p> <p>予防医療によって健康な人を増やすことで医療費の削減や保険料の抑制にもつながり、町の財政健全化にも寄与するものです。</p> <p>こうした観点から以下の点について町の具体的な対応と今後の方針を伺います。</p> <p>① 国は2024年度から子宮頸がん検診の細胞診に加え、子宮頸がんの主な原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）感染の有無を調べる「HPV検査」をがん検診の項目として導入できるとしています。「HPV検査」は、子宮頸がん検診で採取した検体を使って調べるため、検診者のさらなる身体的負担もなく、早期発見・予防に有効であります。本町でも子宮頸がん検診に「HPV検査」を項目に加えることについての見解を伺います。</p> <p>② 子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の男性への接種助成について伺います。</p> <p>ア：男性におけるHPV感染症リスクをどのように認識していますか。</p> <p>イ：男性への子宮頸がん予防ワクチンの公費による接種助成が全国的に広がっています。本町独自でこのワクチン接種の公費助成ができるのか、見解を伺います。</p> <p>③ RSウイルスワクチンによる肺炎予防について</p> <p>ア：RSウイルス感染症の重症化リスクをどのように認識していますか。</p> <p>イ：町民への疾患認知と感染予防の周知啓発をどのように考えますか。</p> <p>ウ：RSウイルスワクチンの公費助成について、見解を伺います。</p> <p>④ 胃がんの主な原因のピロリ菌の感染を早期に発見し除菌することで、胃がんの予防につながることは明らかです。「ピロリ菌検査」を胃がん検診に加えることについて、見解を伺います。</p>	

番号	質問事項	質問の要旨（具体的にご記入願います）	備考
		<p>⑤ 育児中の保護者が安心してがん検診を受けられる環境づくりは、受診率の向上と健康格差の是正に直結する重要な課題です。ためらうことなく受診ができるよう環境整備と支援体制が必要と考え以下の点について伺います。</p> <p>ア：育児世代の主に20歳～40歳代のがん検診の受診率を伺います。</p> <p>イ：安心して受診するために、一時預かり・託児サービスなど現在の支援体制を踏まえつつ、子ども同伴の受診スペースの確保や保護者優先の予約枠を設けるなど、今後さらにどのような支援が可能なのか具体的に検討すべきと思いますが、見解を伺います。</p>	